

アリストテレスをどう教えるか

—「現実主義」の立場からの試み—

愛知県立岡崎高等学校教諭

兼松 正人・地福 真紀子

現実主義というアリストテレスの倫理を、「構造化」の教育方法で追究していく。彼は、アレテーの追求というソクラテス以来のテーマを現実の「幸福」追求と展開し、エイドス(魂)とヒュレー(肉体)とに分ける考察から始める。そして、人間が「ポリス的動物」であるという現実のあり方から「友愛(フィリア)」と正義(「配分的正義」と「調整的正義」)を大切にする彼の「観想的生活」を解明していく。

〔キーワード〕 現実主義 性格の徳 ポリス的動物 配分的正義 調整的正義 観想的生活

1 はじめに

アリストテレスの思想は総合的で、授業展開に構造的な視点が必要であるとは以前から感じていた。本校公民科の地福真紀子先生がJ.S.ブルーナーの「構造化」理論に基づき研究授業を実践されたので、この機会に考察してみたい。このことは、教授方法学としての「構造化」研究にとって、共同研究という意味で大きな一歩であり、「構造化」という教育(研究)方法が「共有」できるものか、また「普及」していくかという大きな意味をも有している。

2 「現実主義」の立場

アリストテレスは、師プラトンが理想主義であるのと比べて現実主義と言われる。それは下表のように比較すると明瞭である。

プラトン	アリストテレス
理想主義	現実主義
イデア論	エイドス論
イデア(理想)の世界こそが実在する	現実世界にエイドス(本質)が内在する
『饗宴(シュンポシオン)』	『形而上学』

アリストテレスの「エイドス」論とは、師プラトンの「イデア」論を現実主義の立場から批判する思想である。すなわち、イデア(理想)を追求して生きる「エロース(向上心)的生活」こそが「人間として善く生きること(アレテー)」であるというプラトンへの批判である。アリストテレスにとっては、現実(現象)世界を超越したイデアの世界は承認できな

ったのである。そのため、現実(現象)世界に内在する本質(エイドス)を追求して生きるという「エロース(向上心)的生活」を目指したのであろう。彼は、現実(現象)世界が本質(エイドス)と素材(ヒュレー)から成り立っていると考え、人間の現実も「ポリス(集団)」から切り離してはありえず、したがって、倫理(道徳)においても現実主義の立場から本質(エイドス)を追求するのである。

このように、現実主義という立場からアリストテレスの思想を考察していく。

3 構造化

現代に生きる高校生が、人間としての在り方生き方を考えるきっかけとなるように右の五つの視点から構造化する、いわば「発見的な学習」を展開していく。これは、「追思考学習」「共感的な学習」と言い換えることもできる。

本研究では、アリストテレスの「現実主義」の倫理を、最終的には彼の「観想的生活」の意味解明として追究していく。そのために、本質構造を明晰とするための教材精選を上記の五つの観点から行い、この順序で授業を展開し、考察していく。

- ① 問題
- ② 出発点
- ③ 方法
- ④ 真理
- ⑤ 解答

(1) 問題

「人間として善く生きるには?(アレテーの追求)」がやはり問題意識である。これはソクラテス以来の永遠のテーマである。けれども、ソクラテスは「魂の配慮」をすることと結論し、プラトンは「イデアの追求(エロース的生活)」そして、「善のイデア」

を追求することこそが善く生きることであると結論した。

では、この問題をアリストテレスは、いかに考えていったのだろうか。いわゆる「追思考学習」で、現実主義の立場を見失わずに思考の「出発点」から「方法」「真理」「解答」とたどって試みてみよう。

(2) 出発点

「幸福の追求」が出発点である。人間は誰でも「幸福」を最高善と考えて追い求めている。けれども、何を「幸福」と考えているのかはそれぞれの人間で違い、また同じ人でも年齢や立場などによって異なってくる。

では、アリストテレスはいかに考えていったのだろうか。幸福とは究極の目的であり、それはアレテー(徳・善さ)の発揮であると考えたのである。そして、人間のエイドス(本質)は魂であるから、魂の善さを発揮することが最高善と考えるのである。

それで「魂の働き」の分析に向かう。これがアリストテレスの「方法」である。

(3) 方法

プラトンは、「魂の働き」を「知性」「意志」「欲望」の三つに分類し、それぞれに「知恵」「勇気」「節制」という徳(アレテー)を置いてその調和に「正義」を設定した。

アリストテレスは、これらの「四元徳」を知るだけでは現実主義の立場からは不十分であるとする。たとえば、「勇気」の徳は、「無謀」ではなく、当然ながら「臆病」でもない。現実には、むしろその「中庸」にあると言える。このように、本当に知るということは、現実実践できるということであり、「知性的徳」だけでなく、現実実践する「性格的徳」を重視する。したがって、「性格的徳」は、「中庸」を選びとっていくこととなる。

また、現実主義の立場では、習慣となっていないでは「知恵」「勇気」「節制」という徳(アレテー)は実践することが困難である。現実生活の中で、繰り返し実践する中でよりよく使いこなすことができるからである。われわれは、知っていることと実践できること、より効果的に実践できることとは違うことを自覚しなくてはならない。現実の具体的な場面では「勇気」ひとつをとって試みても迷うことが多く、

うまく実行できないことが多いのである。思考の中の理想と個々の現実的場面とは違うのである。

(4) 真理

「人間はポリス的動物である」というアリストテレスの言葉は、これまで授業展開してきた「問題」「出発点」「方法」という「構造化」の文脈で考察されなければ、その意味と意義が十分理解されない。私自身もこれまで見過ごしてきた新たな発見である。すなわち、いつの時代でも人間は「ポリス(集団)」を離れて現実には生活できないというだけではなく、われわれの倫理的問題や迷いや過ちもこの「ポリス的動物」に由来するということである。

アリストテレスは、この「ポリス(集団)」における人間の倫理の「エイドス(本質)」を大きく二つにまとめた。それは「フィリア(友愛)」と「正義」である。まず、「フィリア(友愛)」であるが、「ポリス(集団)」の中で誰もが大切に思う「友人」を成り立たせる愛であり、「幸福」の大きな要素である。その本質は次のように比較すると明瞭となる。

エロース	フィリア	アガペー
プラトン	アリストテレス	イエス
向上心	友愛	思いやり
take	give & take	give

ただし、この「フィリア(友愛)」も現実生活の中で習慣となるまで磨かれる必要がある。

次に、「正義」であるが、これにはポリスの法に従うという「全体的正義」と「部分的正義」に分けられる。現実生活の具体的な場面でより問題となるのは「部分的正義」である。これにも二種類ある。「配分的正義」と「調整的正義」である。この二種類があると自覚するだけでも高校『倫理』でアリストテレスを学ぶ価値がある。現代においても、「正義」がなければ、どんな「ポリス(集団)」も崩れ去るものである。クラスでも教科の授業でも部活動という「ポリス(集団)」でも同様である。

下表のように比較すると明瞭となる。

配分的正義	調整的正義
働きに応じる	公平さを保つ
ex. 報酬, 成績	ex. 裁判, 取引

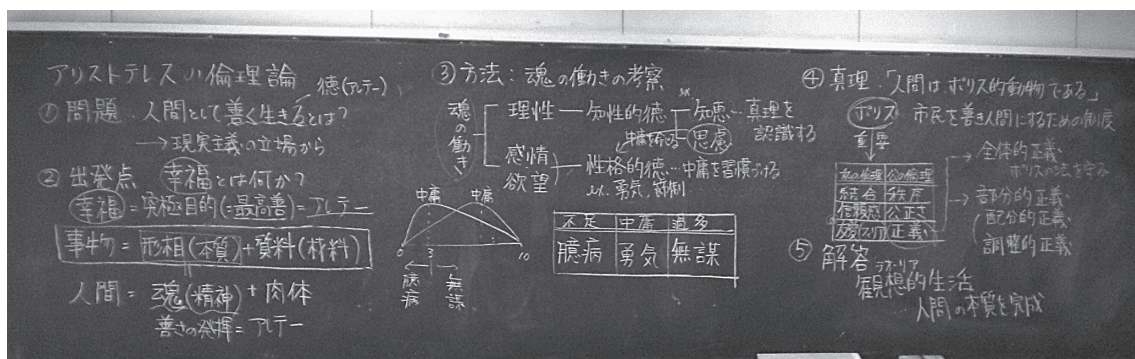
この「配分的正義」と「調整的正義」とを明確に区別して知り、現実社会の中で効果的に使いこなせるようになって、本当に知ったと言えるのである。いわば「為すことによって知る」という知恵をアリストテレスは「観想的生活」で想定していたのではないだろうか。

(5) 解答

アリストテレスの「問題」は、「人間として善く生きるには？」という「アレテー(徳)」の追求であった。この問題を現実主義の立場から「解答」すれば、「ポリス(集団)の中での魂の幸福であり、それは友愛(フィリア)と正義(配分的正義と調整的正義)との実践知を磨くことである」となる。このような意味で「観想的生活」と解答することもできるであろう。

4 おわりに

アリストテレスを「構造化」したいとは以前から考えていたのだが、よいアイデアが思いつかないでいた。ところが、教師六年目の地福真紀子先生が、「アリストテレスも徳(アレテー)の追求が問題意識である」と「ポリスの動物がアリストテレスの真理である」という新鮮な解釈に基づく研究授業を実践された。この授業展開を基礎にして私なりの解釈も加えてこの小論をまとめた。いよいよ「構造化」という教育方法(研究方法)も、誰もが効果的に使いこなせるという意味の「標準化」の段階にはいつかという実感がする。



↑ 授業の板書

公民科「倫理」学習指導案

《アリストテレスの倫理論》

◆単元の目標

人生における哲学の持つ意義を理解させ、ギリシア思想を通して、人間の存在や価値にかかわる課題を探究させ、人間としてのあり方について考えを深めさせる。

◆本時の目標

- ① 現実主義者であるアリストテレスの考えた「善き生」とは何かを考えさせる。
- ② 「人間はポリスの動物である」ことを考察させ、現在を生きる私たちの生き方にも共通するあり方を見つけさせる。

◆授業展開例

	学習内容	指導上の留意点	評価の観点															
導入 5分	・前時の復習 <table><tr><td>プラトン</td><td>アリストテレス</td></tr><tr><td>イデア論</td><td>エイドス論</td></tr><tr><td>理想主義の哲学</td><td>現実主義の哲学</td></tr></table>	プラトン	アリストテレス	イデア論	エイドス論	理想主義の哲学	現実主義の哲学	・「授業記録ノート」の生徒感想を活用する。 ・個々の事物に本質(エイドス)が内在しているという現実主義を確認する。	①プラトンとの比較で、アリストテレスの「現実主義」を効果的に理解させたか。									
プラトン	アリストテレス																	
イデア論	エイドス論																	
理想主義の哲学	現実主義の哲学																	
展開 35分	(1) 問 題(問題意識) 「人間として善く生きるには？」 →現実主義の立場から追求 (2) 出発点 「幸福とは何か？」 幸福＝究極目的＝最高善＝アレテー <table><tr><td>現実の事物</td><td>＝ 形相(本質) ＋ 質料</td></tr></table> ex. 人 間 ＝ 魂(精神) ＋ 肉体 (3) 方 法 「魂の働きについての考察」 <table><tr><td rowspan="2">魂の働き</td><td>理性</td><td>知性的徳</td><td>知恵…真理を認識する 思慮…中庸を命ずる</td></tr><tr><td>感情欲望</td><td>性格的徳</td><td>中庸を習慣づけること ex. 勇気, 節制など</td></tr></table> (4) 真 理 「人間はポリスの動物である」 →《ポリスの倫理》＝ フィリア(友愛) ＋ 正義 <table><tr><td>配分的正義</td><td>調整的正義</td></tr><tr><td>働きに応じる</td><td>公平さを保つ</td></tr><tr><td>ex. 報酬, 成績</td><td>ex. 裁判, 取引</td></tr></table>	現実の事物	＝ 形相(本質) ＋ 質料	魂の働き	理性	知性的徳	知恵…真理を認識する 思慮…中庸を命ずる	感情欲望	性格的徳	中庸を習慣づけること ex. 勇気, 節制など	配分的正義	調整的正義	働きに応じる	公平さを保つ	ex. 報酬, 成績	ex. 裁判, 取引	・アリストテレスの問題意識を共感(共有)させることが大切である。 ・「人間のアレテー(徳)追求」を現実主義の立場から「幸福の追求」として出発し、さらに、現実の幸福を質料と形相とに分けることに留意する。 ・「魂の働き」も「知恵」で知るだけでは不十分で、現実には中庸を命ずる「思慮」こそ「知性的徳」として重視していること、さらにそれを「習慣」とする「性格的徳」を大切にすることが、現実的に「善く生きること」になることに留意する。 ・「人間として善く生きる」という「人間の幸福」は、現実にはさまざまなポリス(集団)の中で実現されるべきことに留意させる。	②“幸福の追求”＝“善く生きることの追求”が、現実主義の立場からよく理解させることができたか。 ③プラトンの「魂の働き」の考察との違いを理解させたか。 ④現実の「ポリス(集団)」の中で善く生きることの考察が、現代に生きる高校生の在り方生き方に転移するように展開できたか。
現実の事物	＝ 形相(本質) ＋ 質料																	
魂の働き	理性	知性的徳	知恵…真理を認識する 思慮…中庸を命ずる															
	感情欲望	性格的徳	中庸を習慣づけること ex. 勇気, 節制など															
配分的正義	調整的正義																	
働きに応じる	公平さを保つ																	
ex. 報酬, 成績	ex. 裁判, 取引																	
整理 10分	(5) 解 答 <table><tr><td>アリストテレスの徳(アレテー)の追求</td><td>＝ 「観想的な生活」</td></tr></table>	アリストテレスの徳(アレテー)の追求	＝ 「観想的な生活」	・左の等式を説明(証明)しようとするすることで、アリストテレスのいう「観想的な生活」とは何かを考えさせる。	⑤「観想(テオリア)的生活」を、現実主義で考えさせることができたか。													
アリストテレスの徳(アレテー)の追求	＝ 「観想的な生活」																	

発行所 数研出版株式会社

http://www.chart.co.jp

頒価 50 円

東京本社 ●〒102-0073 東京都千代田区九段北1-12-11

関西本社 ●〒604-0867 京都市中京区烏丸九段西入ル

TEL.(077)552-7500(コールセンター)

(年2回発行)

2011年5月 発行



本書は植物油インキを使用しています。